

日汉象声形态副词词典

郭雅坤 王彦良 赵 良 编著
金慕箴 审校

知 识 出 版 社

日汉象声形态副词词典

郭雅坤
王彦良
赵良良
金慕箴

编

审校

日汉象声形态副词词典

郭雅坤

王彦良 编

赵 良

金慕簏 审校

知 识 出 版 社 出 版

(北京安定门外外馆东街甲1号)

新华书店北京发行所发行 沈阳新华印刷厂印刷

开本：787×1092 1/32 印张：24.25 字数：518千字

1987年2月第1版 1987年2月第1次印刷

印数：1—6,000

统一书号：17214·56

定价：4.20 元

前 言

语言是人们在长期的劳动实践中创造出来的。毋庸置疑，语言及文字的出现不啻是人类文明的进步，而且也为人人类相互交流思想、传递信息提供了条件。

然而，每个国家都有自己的语言习惯：中国人习惯用歇后语使语言诙谐、幽默；美国人在说到令人怀疑的事情时，常与闻味道相联系以达到一语双关的目的；日本人则喜好使用象声、形态副词使语言生动、活泼，富于想象力。这样就给从事语言这一活动的人们带来一定的困难。

我们在从事日语工作中，深感副词贫乏致使语言呆板，而日本人使用副词之多，令人瞠目。为了适应工作的需要，我们在工作中和业余时间里努力学习日语副词的用法，这次我们将积累的一些词汇以及从各类词典中收集到的词汇（包括同义词、近义词共约1,500条）汇编成这本词典以供同志们学习之用。

如所周知，意思暧昧是日语的一大特点。日语口语伸缩性又很大，各种理解均可的句子甚多，且中、日两国语言习惯不同，相比较而言，日语的象声、形态副词较中国语多。在日语中是作为副词出现的象声或形态副词，在我们所译的中文中，有的是以形容词、有的是以名词、有的是作为定语

出现的；也有一些词因中文没有相对应的用法，为了更符合中文的语言习惯，我们就没有将它译出，这一点请同志们谅解。

在本书编译过程中，我们得到了早稻田大学教授长谷川良一先生和静冈县立湖东高校教谕西原勲先生的帮助，在此表示感谢。

总之，因我们水平有限，编译当中难免有错误，用词也许不大恰当，恳请同志们提出宝贵意见。

编 者

一九八五年六月

• • •

目 录

前言	(1)
词典正文	(1)
日文索引	(688)
中文索引	(717)
声类	(717)
态类	(729)

あ

あーん

【意思】①张大嘴貌。

△^{のど}喉がはれているようですね。あーんしてごらんなさい
/ 嗓子好象肿了，啊——张大嘴看看。

△^{はいし*}歯医者で、あーんと口を開けっぱなしにさせられて、
耳のうしろがいたいよ/牙科大夫一直让我张着嘴，耳
朵根都弄疼了。

〈近义词〉あんぐり(见4页)。

【意思】②张着大嘴哭的声音及其样态。主要用于形容孩子的哭声。

△寒いといっではあーん、転んだといっではあーん。
過保護だからこんな弱虫ができるんだ/冷一点也哇哇
地哭，摔一下也哇哇地哭，这都是因为过于娇生惯养才
把孩子养成这样一个娇气包儿。

△^{まご}迷い子は母親の顔をみるなり安心したのか、あーん
と泣き出した/迷了路的孩子一见到妈妈可能感到放心
了，哇的一声哭起来。

△いつまでも、あーん、あーん泣いてる子にはおやつあ
げません/我是不给老哇哇地哭起来没完的孩子点心吃
的!

〈近义词〉わ一ん(见681页)。

あたふた

【意思】失去镇静，慌慌张张的动作、行为。

△子供が生まれたという電話で、あたふたと会社をとび出して行った/接到孩子出生的电话，急忙跑出公司前往医院。

△^{かじば}火事場へあたふた駆けつけてみたものの、どうしようもない/慌忙赶到失火现场，但又束手无策。

△私は九時のボートで上陸して、あたふたとラッフルズ博物館を探した/我乘上九点钟的小船登陆后，慌忙去找拉普尔斯博物馆。

△こんな時間に主人ったら突然お友達をつれて帰ってきてほんともうあたふたしますよ/都到这个时候了，我丈夫突然带朋友回家来，把我弄得手忙脚乱的。

あっさり

【意思】①味、色清淡，样式、形状等简单貌。

△京都の料理は^{ばんじ}万事うす味にあっさり味つけをする/京都做的菜所有的都清淡爽口。

△夏には^ひ冷や麦とかそばのような、あっさりしたものが喜ばれるが、栄養の点で^{こころほそ}心細い/到了夏天，冷面呀、荞麦面条之类清淡的食品很受欢迎，但在营养上可就稍微欠缺了。

△水彩は^{あぶらえ}油絵と違って、色あいがあっさりと仕上がって

いる/水彩画与油画不同，画出来的画显得着色淡雅。

△今年は線描^がきなどのあっさりした柄ゆきの浴衣^{がら ゆかた ての}が好まれているようだ/今年似乎线描之类的素条花纹的浴衣很受欢迎。

【意思】②人的性格、态度爽快、干脆貌。也用于形容意外地简单、容易貌。

△莫大^{ばくだい}な財産を、あっさりと寄付^{きよ}して平気^{へいき}でいる/慷慨地捐献出大笔财产，显得毫不在乎。

△あれこれ詮索^{せんさく}されるかと覚悟していたのに、あっさり許可してくれたので拍子ぬけしたほどだ/原以为会受到各种刁难，没想到轻易地被获准了，真有点出乎我的意料之外。

△黙否^{もく ひげん}権でも使いそうな面構^{つらがま}えだったが、意外にあっさり自供したよ/看样子象是要行使沉默权似的，真没想到痛痛快快地全都坦白了。

△どんなむずかしい計算でも、あっさりやっ^ててのける/无论多难的计算，都能又快又准确地算出来。

〈近义词〉さっぱり(见235页)。

あっぷあっぷ

【意思】①人或动物溺水时水从鼻子、嘴呛进又喷出时的挣扎貌。

△たいへんだ! 子供が水に溺^{おぼ}れかかってあっぷあっぷしている/不得了啦! 孩子掉进水里快淹死了,正在挣扎。

△小犬が川に落ちて、あっぷあっぷともがいていた/小

狗掉到河里啊噗啊噗地挣扎了半天。

△あいつ泳げないんだぜ。水に落ちたらたちまちあっふあっふだ / 那小子不会游泳，要是掉进水里的话，马上就得呛水。

【意思】②问题成堆无从入手，处于窘迫地位的心里状态及其样态。常用于经济困难等场合。

△あの会社は倒産寸前で、金のやりくりにあっふあっふしているらしい / 那个公司面临着倒闭的危险，似乎正在为筹措资金而奔波呢。

△不景気の波にもまれて、庶民はあっふあっふの毎日だ / 由于经济萧条的波及，市民们每天都疲于奔命。

△実力以上の仕事を負わされて、あっふあっふというところだ / 我被迫承担超过自己实际能力的工作，简直搞得我焦头烂额。

あんぐり

【意思】①呆呆地张着大嘴貌。有时也用于比喻“口”状的东西。惊恐之后心情稳定下来的状态。

△口をあんぐり開けて、ぐっすり眠りこけている / 张着大嘴睡得正香。

△あんぐり口を開けたいぐ毬の中から、つやつやしたくり栗の実がのぞいている / 从开口的带刺的外壳里露出了油亮的栗子。

△傷口があんぐり開いたままで放置されている / 伤口象个张着的嘴一样，无人过问。

△美しさ、珍しさに、ただ口をあんぐりと開けて見とれるばかりでした/对于它的美丽和新奇,我只是呆呆地看得入神了。

△けばけばしいメイキャップの娘の顔にきもをつぶして、田舎の母親はあんぐりと口を開けて見つめていた/乡下的母亲看到浓妆艳抹的女儿,惊奇得目瞪口呆。

△あまりの鉄面皮^{てつめんぴ}ぶりに一同あんぐり/对于他的厚脸皮,大家都目瞪口呆。

〈近义词〉あーん(见 1 页)在张大嘴这个意思上与「あんぐり」是通用的,但这个词是用来表示有意识地张嘴的状态;「あんぐり」表现不知不觉地张开嘴的状态。

い

いじいじ

【意思】由于过于顾忌自己的弱点,待人不爽,表现在行动上畏首畏尾缩头缩脑。

△前科者ということで、白い眼で見られるのでいじいじした性格になってしまう/就是因为被判过刑,总是受人白眼相待,所以就变得性格阴郁起来。

△「どこで拾ったの?」と聞いても、疑われたと思うのか、いじいじと盗み見するばかり/问他“在哪儿拣的?”他以为怀疑他了,一个劲儿心神不定地偷看着我。

△ひねくれて陰^{いん}気で、あのいじいじした態度がたまらなくていやだね/我实在受不了他那抑郁乖僻、畏首畏尾的态度。

〈近义词〉うじうじ(见10页)、おいおい(见25页)。

いそいそ

【意思】由于期望的事情就要实现，迫切的心情表现在行动上的态度。

△久しぶりに食事を外でして、映画を見ようと誘^{さそ}うと、妻はいそいそと支度をはじめた/难得有这种机会，一说要在外面就餐，再看场电影，妻子就兴致勃勃地开始换衣准备出门。

△初めての帰^き省で、彼は足どりもかるくいそいそと駅に向かった/因是第一次回家探亲，他步履轻盈兴高彩烈地走向车站。

△子供の入学式で母親も晴^はれ着^ぎを着ていそいそしている/为参加孩子的开学典礼，母亲也穿起节日的盛装，格外高兴。

〈近义词〉うきうき(见9页)、そわそわ(见328页)。

いちゃいちゃ

【意思】男女毫不掩饰地调情，过分亲昵，旁观者感到不堪入目的表现。

△いちゃいちゃとふるまう隣席の新婚さんには閉口した/对于坐在旁边座位上的新婚夫妇互相调情苟苟且且的

行为，我实在受不了。

△人前をはばかりず、夫婦でいちゃいちゃする習慣を戦前の日本人は持っていなかった/在大庭广众之下，夫妻之间互相调情的习惯是战前的日本人所没有的。

いらいら

【意思】①由于事与愿违或忧虑使人心烦意乱欲发泄怨气的状态。多用于表情、姿态。

△あなた、貧乏ゆすりはやめて！ いらいらするわ / 你的腿别穷哆嗦了！真让人心烦。

△あいつのだらだらとめどない愚痴^{ぐち}を聞いていると、いらいらしてきてどなりたくなる / 听着他那喋喋不休的牢骚怪话令人烦躁，真想训他一顿。

△電車はのろのろ、乗客はいらいら / 电车缓慢地爬行，乘客心急如火。

△汽車の出る時間なのに連れが現れないのでいらいらした / 已经到了开车时间，可是旅伴还没有来，真叫人焦急。

△公衆電話で、前の人の長話ほどいらいらするものはない / 再没有比前面的人占着公用电话说个没完更令人恼火的事情了。

△受験期でどこの家庭の母親たちもいらいら気味 / 升学考试期间，无论哪家的母亲都显得焦虑不安。

〈近义词〉じりじり(见276页)、そわそわ(见328页)。

【意思】②刺扎入皮肤的感觉。并不太疼但总觉得有个东

西。

△手のひらに小さい刺^{とげ}でも刺さっているのかな。手をこするたびにいらいらする/手心可能扎了个小刺，一搓手就感觉难受。

△のどに小骨が刺さっているようだ。唾^{つば}をのみこむといらいらする/好象有个小刺卡在嗓子那儿，一咽唾沫就有点疼。

〈近义词〉ちくちく(见340页)。

う

うおーん

【意思】动物在远处嚎叫的声音，公共场所人声嘈杂的状态。

△狼がうおーん、うおーんほえる、ものすごく、またものがなしい声/狼在远处噢一噢一地嚎叫，令人生畏又有些令人悲哀。

△またも十点満点……。体操競技の館内にうおーんというどよめきがあがる/又是一个满分，十分……。体操比赛场内顿时响起一片喧然的欢呼声。

〈同义词〉うわーん(见21页)。

うかうか

【意思】作事缺乏周密思考、粗枝大叶的状态。也用于形容消磨时间。

△うかうか車道に踏み出して、もうすこしで車にはねられるところだ / 粗心大意地走上了马路，差一点儿被车撞着。

△立札があつたらしいが、全然気付かずに、うかうかと危険区域に踏みこんでいた / 像是有个告示牌，可我全然没有注意到，糊里糊涂地走进了危险区。

△セールスマンの口車にうかうか乗せられて、いりもしない車を買わされた / 糊里糊涂地听信了推销员的花言巧语，买了一辆本不想买的车。

△少年老い易く、学成り難しだ。うかうか過ごしてはいけないよ / 少年易老学业难成。可不能稀里糊涂度春秋哇！

△生き馬の目をぬくような世の中だ。うかうかとは暮らせない / 如今是就好比雁过拔毛的社会，绝不能马马虎虎地度日。

〈同义词〉うっかり(见13页)、うかつ。

「うっかり」着眼于精神状态，「うかうか」多用于表现具体行动。

〈近义词〉ぼやぼや(见634页)。

うきろき

【意思】由于某种期待或喜讯，乐得坐立不安的状态。

△花咲き鳥歌い……、春はなんとなくうきろきする季節

です/鲜花盛开，百鸟歌唱……，不知为什么春天就是令人高兴快活的季节。

△念願かなって始めて彼女とデート。心がうきうきしてネクタイを結ぶ間にも口笛が出る / 多日盼望的与她第一次约会的愿望终于实现，欣喜若狂，连系领带时都不觉吹起口哨。

△子供たちはうきうきと心もはずみ、足どもも軽く遠足に出発した/孩子们兴高彩烈地迈着轻盈的步伐郊游去了。

△当選確実と聞いて、運動員の末端までうきうきといった表現です / 听说当选无疑，直到最基层的参加者都为之高兴。

〈近义词〉いそいそ(见6页)「いそいそ」兴奋的心情表现在行动上，虽然心情迫切但不浮躁。「うきうき」心里喜不自禁，飘飘然，在行动上表现出轻浮。

うじうじ

【意思】优柔寡断，犹豫不定的状态。

△いつまでも煮えきらないでうじうじしているから、彼女に逃げられてしまったじゃないか/因为你始终态度暧昧，犹豫不定，所以她不理你了。

△男のくせにうじうじしていないで、いやならいやと態度をはっきりさせたらいいでしょう/一个男子汉别总是犹犹豫豫的，如果不行的话就说不行，应该明确表示

自己的态度。

△僕は彼女が公判の時にうじうじしやあしないかと心配しましたよ/我很担心她是否会在公审的 时候 犹豫不决。

〈近义词〉いじいじ(见5页)、もじもじ(见666页)

「いじいじ」在表现行动消极 这点上与「うじうじ」相同，但它主要用于表现畏首畏尾、怯懦的心里状态。

「うじうじ」是表现犹豫不决的心里状态。

うじゃうじゃ

【意思】同类生物群聚的状态。用于形容小而令人不快的动物及人的群聚状态时带有轻蔑的语气。

△木の幹といわず枝といわず、毛虫がうじゃうじゃたかっています/无论树干还是树枝都爬满了毛毛虫。

△岩の底部には、海藻とも軟体動物ともつかぬものがうじゃうじゃくっついていきます/在岩石底部密密麻麻地粘着说不上是海藻还是软体动物的东西。

△反乱だと？ たかが水呑み百姓どもがうじゃうじゃ集まっているにすぎんではないか/什么？造反？只不过是些穷种地的乌合之众纠集在一起罢了。

△飛行機から見下ろすと、避難民が虫のようにうじゃうじゃ集まって、西へ移動しているのが見える/从飞机上往下一看，难民们成群结队地象虫子一样咕咚咕咚地向西移动。

※只用手形容微小而缓慢的动态。有时也用于表现人废